

3年 4章 関数 $y = ax^2$

- ① 関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ について、 x の変域が $-6 \leq x \leq 4$ のとき、 y の変域は $a \leq y \leq b$ である。
このとき、 a 、 b の値を求めなさい。〔16 神奈川〕

[解答欄]

①	$a =$ $b =$
---	--------------------

- ② 関数 $y = \frac{1}{3}x^2$ について、 x の値が 6 から 9 まで増加するときの変化の割合を求めよ。〔15 東京〕

[解答欄]

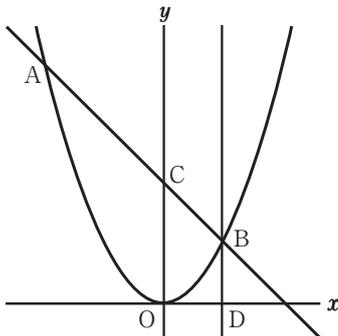
②	
---	--

- ③ 関数 $y = ax^2$ について、 x の値が -3 から -1 まで増加するときの変化の割合が -3 であった。
このとき、 a の値を求めなさい。〔15 神奈川〕

[解答欄]

③	
---	--

- ④ 下の図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に 2 点 A、B があり、点 A の x 座標は -4 、点 B の座標は $(2, 2)$ である。2 点 A、B を通る直線と y 軸との交点を C とする。また、点 B を通り、 y 軸に平行な直線と x 軸との交点を D とする。
このとき、次の問い(1)・(2)に答えよ。〔13 京都〕



- (1) 点 A の y 座標を求めよ。また、2 点 A、B を通る直線の式を求めよ。
- (2) 関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に x 座標が正である点 E をとる。 $\triangle OEC$ と四角形 ODBC の面積が等しくなるとき、点 E の座標を求めよ。

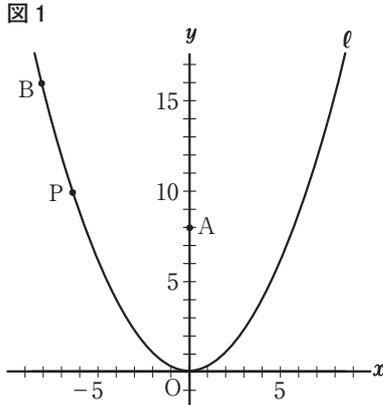
[解答欄]

④	(1)	点 A の y 座標 _____ 2 点 A、B を通る直線の式 _____
	(2)	

⑤ 下の図1で、点Oは原点、点Aの座標は(0, 8)であり、曲線ℓは関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフを表している。点Bは曲線ℓ上にあり、x座標は-8である。曲線ℓ上にある点をPとする。次の各問に答えよ。〔16東京〕

(1) 点Pが点Bに一致するとき、2点A, Pを通る直線の式を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

- ア $y = -x + 8$ イ $y = -\frac{1}{3}x + 8$
 ウ $y = \frac{1}{3}x + 8$ エ $y = x + 8$



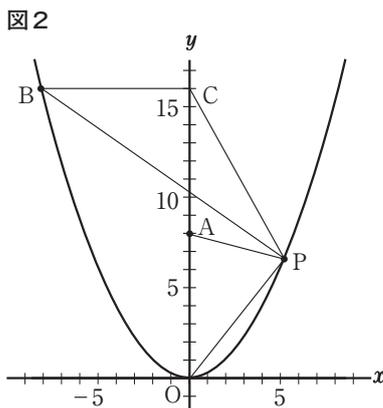
(2) 点Pのx座標をa, y座標をbとする。

aのとり値の範囲が $-8 \leq a \leq 6$ のとき、bのとり値の範囲を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

- ア $-16 \leq b \leq 9$ イ $0 \leq b \leq 9$
 ウ $0 \leq b \leq 16$ エ $9 \leq b \leq 16$

(3) 下の図2は、図1において、点Pのx座標が8より小さい正の数であるとき、点Bを通りx軸に平行な直線を引き、y軸との交点をCとし、点Oと点P、点Aと点P、点Bと点P、点Cと点Pをそれぞれ結んだ場合を表している。

$\triangle CBP$ の面積が $\triangle AOP$ の面積の3倍になるとき、点Pのx座標を求めよ。



[解答欄]

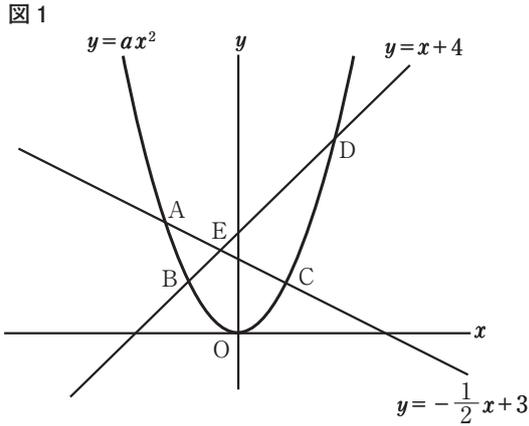
⑤	(1)	
	(2)	
	(3)	

⑥ 下の図1のように、関数 $y=ax^2$ のグラフと直線 $y=x+4$ の交点を B, D, 関数 $y=ax^2$ のグラフと直線 $y=-\frac{1}{2}x+3$ の交点を A, C, 直線 $y=x+4$ と直線 $y=-\frac{1}{2}x+3$ の交点を E とする。

4点 A, B, C, D の x 座標が、それぞれ $-3, -2, 2, 4$ であるとき、次の(1), (2)の間に答えなさい。ただし、 $a > 0$ とする。

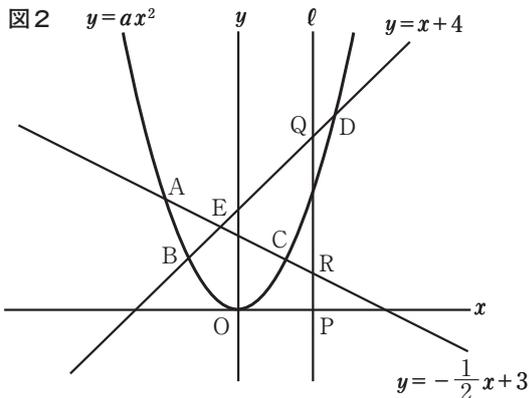
また、原点 O から点 (1, 0) までの距離及び原点 O から点 (0, 1) までの距離をそれぞれ 1 cm とする。

[15 千葉]



(1) a の値を求めなさい。

(2) 下の図2は、図1において、 x 軸上に点 P をとり、点 P を通る y 軸に平行な直線 l をひいたものである。この直線 l が、関数 $y = ax^2$ のグラフ、直線 $y = x + 4$ 、直線 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ と交わる点のうち、 y 座標が最も大きい点を Q、最も小さい点を R とするとき、次の①, ②の間に答えなさい。



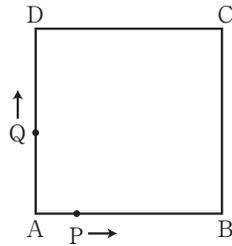
① 直線 l が点 E を通るとき、線分 QR の長さを求めなさい。

② $-3 \leq x \leq 4$ のとき、線分 QR の長さが 3 cm となる点 P の x 座標をすべて求めなさい。

[解答欄]

⑥	(1)		
	(2)	①	
		②	

7 右の図のように、1辺が8 cmの正方形 ABCDがある。



点 P は、点 A を出発し、正方形の周上を毎秒 1 cm の速さで時計の針と反対の回り方で移動する。また、点 Q は、点 A を点 P と同時に出発し、正方形の周上を毎秒 2 cm の速さで時計回りに移動する。

点 P, Q は、出会うまで移動し、出会ったら停止する。

点 P, Q が点 A を出発してから x 秒後の $\triangle APQ$ の面積を $y \text{ cm}^2$ とする。ただし、2 点 P, Q が点 A の位置にあるときと出会ったときは、 $y=0$ とする。

次の各問いに答えなさい。〔'13 長野〕

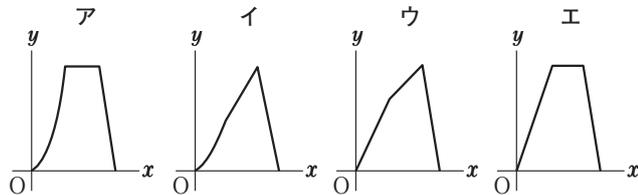
(1) x と y の関係は、次の表のようになった。表中の **あ**, **い** に当てはまる数を求めなさい。

x	0	1	2	3	4	5	...
y	0	1	あ	9	い	20	...

(2) 点 Q が辺 DC 上を動くときの x の変域を求めなさい。また、このとき、 y を x の式で表しなさい。

(3) 点 P, Q が出会うのは、**う** 秒後である。**う** に当てはまる数を求めなさい。

(4) $0 \leq x \leq \text{う}$ のとき、 x と y の関係を表すグラフを、次のア～エから 1 つ選び、記号を書きなさい。



(5) $\triangle APQ$ の面積が 12 cm^2 になる x の値をすべて求めなさい。

(6) 点 P, Q が点 A を出発してから t 秒後の $\triangle APQ$ の面積と、 $2t$ 秒後の $\triangle APQ$ の面積が等しくなった。 t の値と $\triangle APQ$ の面積を求めなさい。

[解答欄]

7	(1)	あ	_____
		い	_____
	(2)	変域	_____
		式	_____
	(3)		_____
	(4)		_____
	(5)		_____
	(6)	t の値	_____
		面積	_____